

■令和元年東日本台風により被災した農地・農業用施設等の復旧

災害復旧事業の着実な推進と営農支援による復興

- 市町村が行う災害復旧事業への支援
 - ・ 農地、揚排水機場の復旧に係る計画変更、河川協議等に対する技術的な支援(1,802か所)
- 災害復旧工事の受託
 - ・ 復旧に高度な技術力が必要となる浅川第一排水機場の工事を長野市から受託して実施
- 被害農作物の生産、経営安定に向けた支援
 - ・ 被害農作物（りんご、もも、ながいも等）の生育調査や改植支援
 - ・ 営農、資金、農地確保等の相談対応、農機具、施設の再取得等の支援(6,254件)

■第3期食農計画達成指標

重点取組	達成指標	現状 (2016年)	計画 (2020年)	目標 (2022年)
1	果樹の新規栽培者数（45歳未満、単年度）	32人	32人	32人
	定年帰農等新規就農者数（45歳以上65歳未満、単年度）	4人	8人	8人
2	果樹戦略品種等の栽培面積	1,155ha	1,378ha	1,480ha
	りんご高密度植・新しい化の栽培面積	82ha	104ha	110ha
	生産性を高める樹園地の条件整備面積	396ha	140ha	414ha
3	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積（米・麦・大豆・そば）	593ha	703ha	762ha
	農業用水を安定供給する重要な用排水施設整備箇所数	一箇所	2箇所	5箇所
4	学校給食における県産食材の利用割合	47.7%	50%	51%
	売上高1億円以上の農産物直売所の売上総額	20億円	24億円	26億円
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,056ha	4,812ha	5,074ha
	野生鳥獣による農作物被害額	1億1,300万円	9,760万円	9,000万円
6	小水力発電の整備箇所数	2箇所	2箇所	3箇所
	持続的な営農や農村の暮らしを守る取組面積	74ha	1,630ha	1,958ha

重点取組1：産地を支え未来につなぐ新規就農者や定年帰農者など多様な担い手の確保・育成

- 県、市町村、農業団体による連携・分担と支援体制の強化
 - ・ 長野地域就農促進会議の開催（2回）や須高農業振興会議の開催（3回）
- 新規就農者や定年帰農者等多様な担い手の確保・育成と早期技術習得等の支援
 - ・ 就農相談会等による担い手の誘致
 - ・ 農業次世代人材投資事業（準備型・経営開始型）に係る受給希望者への支援
 - ・ 青年農業者及び定年帰農者等への作目別技術習得セミナーの開催
 - ・ 主要作業動画の配信によるりんご新しい化、ぶどう短梢栽培の技術習得支援
- 地域農業をけん引する経営体の育成
 - ・ トップランナーを目指す経営体への支援（経営・技術・マネジメント他）
- 担い手への農地の利用集積の推進
 - ・ 人・農地プランや農地中間管理機構等との連携による農地集積化の推進

重点取組 2：新品種・新技術の導入や樹園地の継承・集積で発展する競争力の高い果樹産地づくり

- 消費者ニーズの高い県オリジナル品種等の戦略的導入
 - ・ りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ」等の戦略的導入を支援
- 地域振興果樹の生産安定
 - ・ 生食あんずのブランド化支援と省力栽培技術の実証
 - ・ ワイン用ぶどうの生産安定（科学的調査方法の習得、栽培検討会の開催（3回））
- 畑地かんがい施設の整備など稼げる果樹経営の生産基盤整備
 - ・ 畑地かんがい施設の計画的な更新と農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の整備
- 果物の魅力発信と新商品開発の取組支援
 - ・ 長野地域の果物の魅力と被災復興状況を発信

重点取組 3：地域の特徴を活かした野菜、花き、穀物等の産地づくりと環境農業の推進

- アスパラガスの早期成園化、半促成・長期どり栽培の推進
 - ・ 長期どりによる単収向上の支援（モデル農家設置、モデルほ活用の講習会等の開催）
- 水稻経営体等の徹底した生産コストの低減と複合化による体質強化
 - ・ スマート農業の普及（水田センサー、ドローン等の省力化実証ほ2か所）
- 産地づくりに資する基幹的土地改良施設の整備と農地の条件整備
 - ・ 農業用水の安定供給を図るための基幹的農業水利施設の長寿命対策等の実施
- 持続可能な畜産経営の推進とゲノミック評価等新技術の活用による生産拡大
 - ・ 養豚農場における防疫対策点検指導及び野生いのしし検査等によるCSF防疫対策強化

重点取組 4：地域資源を活用した食育や地消地産の推進と新たな需要の創出

- 地域資源等を活用した地消地産の推進
 - ・ 地域の果物の売買取引を増やすため、関係団体と連携した商談会等の開催
- 6次産業化等により経営強化をめざす農業者の取組支援
 - ・ 長野地域6次産業化推進協議会を核とした支援（個別相談、講演会等の開催）

重点取組 5：皆が訪れ暮らしたくなる農村づくり

- 農村資源を地域ぐるみで守る農村コミュニティ活動への支援
 - ・ 日本型直接支払事業の取組による農業生産基盤の維持や農業生産活動等を支援
- 農商工観連携の強化による農村地域の活性化
 - ・ ため池・棚田など農業資産の魅力を発信し、観光資源としての活用を推進
- 野生鳥獣に負けない集落ぐるみの被害防止活動への支援
 - ・ 鳥獣被害防止総合対策交付金等を活用した侵入防止柵設置を支援（5市町村5地区）

重点取組 6：活力に満ち安全安心な農村づくり

- 小水力発電等の自然エネルギーの活用を推進
 - ・ 農業水利施設の管理者への普及啓発や、発電施設の設置に向けた取組を支援
- 農村地域の湛水被害を防ぐ施設の整備を推進
 - ・ 老朽化した排水機場の更新や機能の向上
- 地すべり防止施設の整備やため池等の安全対策を推進
 - ・ 地すべり防止施設の長寿命化計画の策定と地すべり対策事業の実施
 - ・ ため池ハザードマップの作成とため池改修事業の実施